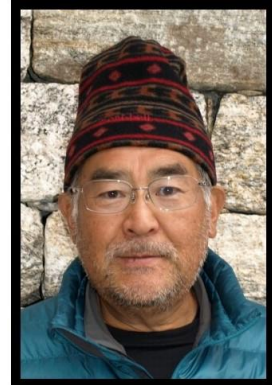


## 『旧き友』を歌っているトンベ

齊藤 孝

トンベは、天空の巖かな山頂へ登っていた。そこは白い峰エベレストよりも高い天国の岩稜である。天女にかこまれて、満足した笑みで眼鏡を外している。極楽浄土なので安らかに過ごせる。天に召された KWV の仲間を探し出し、天女と仲間と、あらたな出会いを考えていることだろう。トンベはいつも仲間の中心にいて、みんなのことを思いやる優しい心で、KWV の絆を大切にしてくれた。トンベは、コミュニケーションとコーディネータの達人だった。



『旧き友』 両手を大きく開け音頭をとり、大声で歌っているトンベの姿。

旧き友 集い語ろうは

過ぎし日の旅 山の想い

森にさすらい 谷をゆき

峰に立ち日を忘れえず

峰に立ち日を忘れえず

みなさんは若かった。そこには青春と未来があった。山と森、そして我々も実に美しく、輝いていた。 トンベの思い出は、60年前の山旅の思い出である。

**心からご冥福を祈ります。**